

指名選考委員会を開催、厳正かつ適正である。予定価格は契約規則に基づき設計書により定め、設計金額と同額で決定。物品も契約規則や財務規則に則り発注している。

質問 グループ制導入に問題はなかったのか。

町長 グループ内の事務配分の調整と職員の流動化が図られ、意見決定と事務処理のスピードアップや職員の効率的な活用により、住民サービス向上を目指したもので、グループ制導入による原因で問題が生じたと考えていない。

質問 公益通報制度の創設は検討したのか。

町長 まだであり、今後も検討する。

質問 新しい技術職員募集は。

町長 なかなか応募者が少なく、来年度に向けても募集する。



見 悟 鷺

生活確保と地域の利便性の向上への取り組み

質問 患者輸送バスやスクールバスの運行が行われているが、障害者や運転免許を持たない人などへの援助は考えられないか。

知らせる、輸送、運行日と回数を増やすなどは考えられないか。

町長 現時点では考えていない。

質問 IP告知端末機などを利用したコミュニケーション乗合タクシーなどはどうか。

町長 事業化する場合には有効なものになる。

質問 バスの利用者ニーズに応じた地域運行や小型低床車両を考慮した運行などどうか。

町長 今までの患者バスとスクールバスの運行により、生活確保に努めたい。

質問 NHKのクローズアップ北海道でも放映されていたが、時間をきちんと

知っているが、時間をきちんと

町長 計算したことはない。人件費の部分も加算することになってくるかも知れない。

質問 スクールバスは、近隣町村をみても、どこでも走っている。患者バスの名称は変えた方が良いと思うが、買い物や利便性を考えたら、便数を増やすということではないか。

町長 地域の人からなんとかならないかという要望があれば改める余地はある。

質問 スクールバスと患者バスの運行時間は大体同じ時間帯なので、問題の解決にならない。

町長 いろいろと検証しなくてはならない。

質問 北海道の中でも共通する悩み。NHKでも何回も取り上げられている。地域の生活確保と様々な交通機関の検討が行われている。なんでも切るということだったら、何もなくなる。

町長 切るということではなくて、問題が無いと考えている。平成16年から自律の町づくりということでやってきた。自助、共助、公助ということで自分で努

力してもらおう。どうしても個人的にできないことは、自治体がやる。そういう考えだ。

質問 福祉や医療、生活の確保の問題について聞いている。幌延町の場合は、地理的条件もあって、患者バスを走らざるを得ない状況にあったのだと思う。地域の人々に住んでいただく、定着するということにもなる。

町長 農業後継者に対する助成制度はどう考えるのか。独自、単独では考えていない。

議会の傍聴をしてみませんか

議会は年4回の定例会と必要に応じて随時臨時会が開かれます。

どなたでも自由に傍聴することができます。

問い合わせ

議会事務局 電話 5-1111(内線312)